

令和3年度 沼津市自転車活用推進協議会

議事要旨

| | |
|-------------|---|
| 日時 | 令和4年3月9日（水）～令和4年3月25日（金） |
| 場所 | 書面開催 |
| 出席者 ※敬称略 | 中村会長、赤松委員、清水委員、鈴木（智）委員、佐野委員、鈴木（拓）委員、小野委員、米山委員、河本委員、小松委員、稲葉委員、渡辺委員、栗原委員、中川委員、椿委員 |

| | |
|------|--|
| 議事要旨 | <p>《中村会長からの意見》</p> <ul style="list-style-type: none">・“検討します“という言葉が並んでしまう計画が多い中、具体的な取組みが見受けられ、全体的には満足できる内容となっている。・計画を推進していくうえで、手段と目的とを混乱しがちですが、沼津市の場合は、健康などといったキーワードを掲げておりますので、それぞれの目標に向かってぶれずに、市民の方々の期待を受け止めつつ、常に安全に配慮し、委員のみなさんの意見をしっかりと受け止めていただき、施策を進めていただきたい。 <p>P17 16、「自転車と公共交通の相互利用の利便性向上」</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車で移動している人を自転車+バスに移ってもらうという狙いなのか、全線自転車で行っている人を自転車+バスに変えるか、どんな風な人々の行動の変容を目的とするのかによります。・自動車に今乗っている人が、自転車+バスで移動してもらうためには、自動車に今乗っている人に、自転車+バスが魅力的であることを伝えることが重要です。そして、実際にその自転車+バスの移動が、自動車から転換したいと思えるほどに魅力的であることも大切な視点です。 <p>P23 22、「沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置の検討」</p> <ul style="list-style-type: none">・この施策については、その他施策とは時間軸が違う取組みだと思います。連続立体交差が具体的に出来上がるまでの間に、関連することを何もしないのではなく、関連することに関して先手を打ち、準備しておくことが重要です。連続立体交差が出来た際には、様々なことがスムーズに繋がっていくこと、そのための、時間軸上の段取り・準備、スケジュールをしておくことが必要だと思います。 |
|------|--|

《委員からの意見》

1 議題

沼津市自転車活用推進計画における令和3年度実績および令和4年度に予定している取組みについて【資料1】

【意見】

P1 1、「沼津市自転車ネットワーク計画等に基づく自転車通行空間の整備」

- ・目標値を上回る成果が生活者としても変化を実感しました。
- ・車で走行する側としても表示があることで安全な運転を心掛けることが出来ました。
- ・令和3年度内に自転車専用道が車道や歩道内に少しずつ増えてきました。来年度も更に増加することを期待しています。
- ・市内を車で走ると矢羽根の掲示が多く目につくようになりましたが、狭い道は全く無く、通学・通勤で利用している狭い道にも掲示が必要ではないかと思えます。

P3 2、「自転車を利用しやすい環境の整備」

- ・R3実績及びR4取組に街灯等予定無しとありますが、都市部に比べ地方においては暗い部分や道路の変形が多い様々感じます。街灯を増やすことは望んでおりませんが、来訪者には特に注意喚起として輝度の高いライトを用意されることをおすすめするなどが必要かと思えます。
- ・措置「2」の太平洋岸自転車道路のサインや、「やばね」が急に増加しているように感じます。設置することで継続的に自転車利用者や運転者の自転車に対する意識変化にも繋がると考えます。また、長い目で機能すると考えます。より増加を期待します。

P7 7、「世代に応じた交通安全教室の開催」

- ・「世代に応じた」に対する実績/取組予定ともに不十分ではないかと感じます。小中学生においては既実施の取組により交通安全の指導に触れる機会も多く、自転車利用の際のルール/マナーなどは比較的浸透しやすいものと思われれます。より力を入れるべきなのは、その上の世代、特に大人や高齢者に対する教育ではないかと思えます。世代が上がるほどこのような交通教育に触れる機会が減少することは、本計画のための調査でも明らかにされていきました。あくまでも個人的感想ですが、特に高齢者においては自転車が車両で左側通行というような基本的な事柄さえも認識していない人が多いように感じます。子供たちの手本となるべき大人が基本的なルールさえ理解していないようでは、いくら注意しても子供たちには響かないと思えます。なんらかの方策を期待したいです。

P 8 8、「自動車との共存に向けた相互理解の推進」

- ・きせがわ自動車学校での講習の対象者がどのような方かわかりませんが、より広範な運転者を対象にする必要があるのではないのでしょうか。
- ・たとえば警察署または運転免許センターでの免許更新時に自転車利用に関する安全教室を行うなどすれば、すべての自動車運転者をカバーすることができるのではないのでしょうか。

P 9 9、「沼津市高校生マナー向上委員会による自転車マナー啓発活動の推進」

- ・学園通りは夕刻～夜間も高校生の利用も多く、中には無灯火で走行する自転車も多いのが現状です。各校にライトの整備・点検を実施してもらうよう依頼します。併せて、静岡菅公学生服(株)から毎年4月に贈呈されている反射ステッカーの早期装着も各校へお願いしてまいります。
- ・市への依頼としましては、街灯の設置をぜひ検討していただきたいと思います。(A O K I～杉崎町交差点)
- ・今年度末(3/16)に市からのぼり旗とタスキを沼津市高校生マナー向上委員会・各校へ贈呈していただきます。毎年贈呈いただき、月1回の一斉指導に加え、各校での日頃の交通安全指導にも役立たせていただいております。
- ・この沼津市高校生マナー向上委員会の活動に沼津警察署と沼津市に御協力いただき、感謝しております。活動も11年目に入っていますが、今後も宜しくお願い致します。

P 1 0 10、「自転車の走りやすさや安全性に関するマップの作成と発信」

- ・交通ルールだけではカバーできない安全性も地域によって異なると思います。特に危険と思う所では、どうすべきか地域の生活者が洗い出して解決策を練ることは大事だと思います。
- ・また、車を運転しない人(大人～子供)に対してドライバーからの目線や死角、スピードに対する感覚、また逆走自転車の危険性などを知ってもらうのは大事かと思われました。

P 1 2 12、「5月の自転車月間における自転車利用の啓発促進」

- ・コロナ禍で遠方に出かける機会が減ったこの時、地元を自転車で走ってよさを見直すことは良いことだと思います。おしゃれにまとめられた自転車特集の広報誌はとても楽しく拝読しました。
- ・5月は自転車に乗るのに心地よい時期です。ルールの周知も大事ですが、まずは自転車や歩くこと(自動車以外で移動する)に挑戦してもらいたいです。

P 1 5 1 4、「自転車ヘルメットの着用の広報啓発」

・豆腐を使ったデモというのは、ヘルメットの効果を実感してもらうためにとてもいいアイデアだと思いました。しかし、そこから実際に着用してもらうためには、さらに一押しが必要と思われます。

・愛知県では条例でヘルメットの着用が努力義務化されました。購入補助などの制度も合わせて実施しないと効果はないと思うので、同様な施策を実施することはなかなか難しいとは思いますが。しかし啓発だけよりも確実に普及の後押しをすると思うので、そのような議論はできないものでしょうか。

P 1 8 1 7、「公共用地・民地・鉄道駅等へのシェアサイクルやレンタサイクルポートの設置・検討」

・シェアサイクルを利用させていただきましたが、走り出し、返却ともに、もう少し場所が身近にあれば良いと思いました。公民館・図書館など拡大されれば使い易くなるかと思えます。

・これはシェアサイクル事業者に言うべきことだと思いますが、実際にシェアサイクルを利用したうえでの感想です。

・待機している自転車のバッテリーの残量がどれも残り少なかったです。

・シェアポートの数自体も少ないが、待機している自転車も少なく感じました。システム上の問題かもしれませんが、効率よい配置はできないものでしょうか。

・屋根がなくて雨ざらしのため、若干薄汚れています。劣化も早くなりそうなので風雨と直射日光は防げる方が好ましいだろうと思います。

・アシスト付きの小径車は取り回しもよく、橋へのアプローチの登りなど楽でとても快適です。天気の良い日などに街を散走する爽快さは是非多くの人に味わってもらいたいです。

P 2 3 2 2、「沼津市中心市街地まちづくり戦略と連動した自転車通行空間の検討と駐輪場の配置の検討」

・沼津市中心市街地まちづくり戦略の中ではヒト中心のまちづくりとして、自転車の利用や歩行者との関係について言及されている部分が多くあります。これら連携する各計画との整合性の確認や進捗の管理が適切になされることが重要であると感じました。

P 2 4 2 3、「移動が楽しめる新たなモビリティツールの活用検討」

- ・おもしろい企画です。このような実証実験が全国でどの程度進められているのか調べておりませんが、交通規制や電動キックボードの駐輪・保管スペースが許すようであれば「沼津駅⇄沼津港」に限らず、走行エリアを拡大することができれば、有意義なデータが得られるように感じます。また、観光誘致の一助になるとも考えます。
- ・E Vバスの走行試験から活用の時に同じく、導入にあたり不安もあるかと思いますが、様々なスタイルの走行車の共存がお互いの安全意識を高めるいい機会だと思います。但し、お互いの安全のために守るべきルールの遵守は必須かと思います。
- ・自転車のみではなくそのために整備したインフラ等を利用して、他のモビリティツールの可能性を検証するというのは、多様なニーズに答える解を用意するという意味でよい取組だと考えます。ただし、様々な手段を検討するうえでの一例なのだと思いますが、電動キックボードについては、下記の点で課題が多いと考えます。
- ・車輪が非常に小さいために段差や路面の凸凹に弱いです。
- ・完全に電動なので健康増進の役には立たないです。
- ・一方、自転車に乗ることが困難な人のため、というのであれば立ったままでしか乗れないというのはどうなのでしょう。
- ・一般的には原動機付き自転車のカテゴリーであることが理解されていないためのトラブルが頻発しています。
- ・これから電動キックボード等の歩道での走行が一般的になると歩行者・自転車の安全性が気になります。

P 3 0 2 8、「広域連携によるサイクルルートのブランド化の推進」

- ・太平洋岸自転車道はナショナルサイクルルートに指定されていますので、表現を改めること。(評価時点が不明ではありますが) よって、R 3実績として、「太平洋岸自転車道のN C Rへの指定」を記載してよいかと思います。

P 3 2 2 9、「地域資源を活かした多彩なサイクルコース・観光プランの造成による誘客の促進」

- ・沼津をはじめ伊豆一帯は都心部からも近いながら海山に囲まれ自然を満喫できる素晴らしい場所です。自転車観光として有名な“しまなみ街道”にも匹敵する程の資産をもっていると思います。これからの変化に期待します。

P 3 3 3 3、「国内外への情報発信強化」

- ・Cycle Activity Numazu のプロモーション動画を拝見しました。自転車フレンドリーな感じが伝わるなかなかよい出来だと思いました。特にロードバイクでのパートでいつも見慣れているはずの景色がまるで海外のリゾート地のように映し出されていたのに驚きました。もっとロングバージョンで見たいと思いました。観光的にもアピール大なのではないでしょうか。

市民（ドライバー）への告知機会の創出や浸透について

- ・措置「1」や措置「3」から自転車通行空間の整備、今後の方向性がうかがえます。
- ・措置「4」から広報啓蒙活動などが推進されていることがうかがえます
- ・措置「12」から「広報ぬまづ」による日常生活での自転車利用促進は大変素晴らしい広報活動と考えます。

・「自転車利用促進」、「自転車利用に必要なインフラ整備」、「各種研修会」などの活動は素晴らしく、推進への関係者の努力を感じます。加えて、「市民」や「ドライバー」へ「自転車推進都市を目指そう」という呼びかけ機会をより一層実施できると良いと考えます。

・「広報ぬまづ」に「日常的に自転車を利用することは、健康増進、まちの魅力再発見など、・・・・・・・・・・」と紹介されています。

だから沼津は自転車応援都市を目指しています。通勤自転車、買い物自転車、スポーツサイクルなど自転車利用者を市民全員で見守っていきましょう。

このような啓蒙活動により、市民の意識改革を進めてはいかがでしょうか。

周辺市町村や関係協議会との連携による Web 発信の強化

- ・措置「28」サイクルルートのブランド化の推進、
- 措置「29」サイクルコース・観光プランの造成、
- 措置「32」情報発信ツール作成・・・など

TOKYO2020 オリパラの話題もあり時流に乗った対応だったと考えます。

・「太平洋岸自転車道」、「伊豆一周」、「富士山一周」、「KANOICHI」などは人気のコースですし、首都圏・中京圏からもアクセスも良く、話題性もあり是非走りたいと考えるコースです。

・周辺設備の充実やイベントに加え Web 情報発信の強化が必要だと考えます。

（先日「狩野川周辺サイクル事業推進協議会」発行の「KANOGAWA サイクリング MAP」携帯用の折りたたみパンフレットを目にしました。

大変良いものだと思いますが、残念なことに「紙ベース」で、Web では見つけることができませんでした（私の検索が悪いだけかもしれませんが）。著作権など内部事情などは分かりませんが Web 掲載があると良いと感じています。

・ファミリーやレジャー向けには設備、イベント、レンタサイクル、紙ベースの地図などが必要だと思いますが、サイクリスト（初級でも）にとっても、必要なのは情報だと考えます。サイクル関係施設の充実の必要はあまり感じません。

・ブランド化推進のルートなどを「沼津市」や「狩野川周辺サイクル事業推進協議会」の HP で紹介いただき「走りたい」と思ったら即実行に移せる情報を提供いただければと考えます。

《その他》

・「実施主体」の欄について、道路管理者や交通管理者など記載した方がよい。もしくは、「市担当課」に書き換えた方がよい。

・自転車の安全について、市全体で取り組んでいただきたい。

・買い物等の自転車利用も多く、CO2の削減にもなりますし、期待するところです。

以上

【市の考え方・対応について】

沼津市自転車活用推進計画の令和3年度実績・令和4年度取組みにつきまして、各委員の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

今回いただいた各委員の皆様からのご意見を参考に、令和4年度も引き続き、沼津市自転車活用推進計画に位置付けている各施策を推進してまいります。

以 上